**田中長老導師講話会　　2019年12月17日**　　　国際文化会館

１、「神聖復活の印」は特別な力を頂ける印

　　■白光誌2019年12月号の4ページの昌美先生のお言葉

**「真に人のため、人類のため、地球のために神聖復活の印をささげる人は、五井先生そして宇宙神か**

**から特別な力を授かります」**。また**「呼吸法と印により、肉体と精神そして魂が結びつく瞬間を迎え、**

**その瞬間に魂の力が一気に降ろされてくる」**ともおっしゃっています。

　　　これは実際にそうであります。それは、この印を組んだ後に頂くのではなく、組みながら頂くので

　　あります。この印を組んでいる最中に、**まさに我即神也で息を吸う瞬間に、エネルギーが丹田に入ってくる。**その時に「今、来ているな」と意識することが大事です。

　　■今日から実践していただきたいのは、この印を組むたびに、まず最初に**「自分が救われているか」**

　　と問うことです。つまり、この神聖復活の印を組むことにより、まず自分が救われているということを自覚し、その自覚を深めてゆくことが重要なポイントとなります。

２、私たちが今生で仕上げるべきこととは

　　■私たちは、生まれたときは、その魂の本質である神性が完全な形で現れ、それはまん丸に調和した、素晴らしい球体であったのです。昌美先生が提唱されている真の言霊の中にある「すべては完璧　欠けたるものなし　大成就」という真理のとおりの自分であったはずなんですが、今日までの間に他の人々からの感情的で否定的な言葉を通じて「お前はダメだ」という否定的メッセージを自分の心に受け入れてしまったために、元々の完全な光輝く球体を自分自身でぐちゃぐちゃにしてしまったということなんですね。

　　■そうやって**歪んでしまった球体をもと通りにするのが、神聖復活の印なんです**。元の完全な球体は、外に求めるものでもなく、よそからもらうものでもなく、自分の中にすでにあったのだということを見出してゆく。そうだったのか、このままで健康だったんだ、すべてが完全に整っていたんだ、と分かるようになってくるのです。

　　　ということで、印の最後は、ゆっくりと「すべては完璧　欠けたるものなし　大成就」と心の中で唱えて完成するわけですね。

　　■**「あなた方は神聖復活しているのですよ」**と、昌美先生が神聖復活祭の最後におっしゃったのは、決してリップサービスではなく、印を組んでいる皆様は本当にそうなのです。あとは「すべては完璧　欠けたるものなし」というのは本当だった、ということを鮮明に思い出すだけです。その鮮明に思い出す方法として、**「我即神也」という言葉を（印に）使う**のです。私たちは地上に生まれてきた時は、素晴らしい光輝く球体をもってきたんだ、これを蘇らせるのだ、ということを意識して印を組んで下さい。

３、2020年に一番必要なのは、「我即神也」の気迫

　　■これまでにいろいろな印を組んできましたが、今はこの神聖復活の印、これを「我即神也」の自覚とともにしっかりやらないと、昌美先生のご期待には沿えません。

　　■神聖復活号という箱船から大海を漂っている人々に救命具を投げる訳です。救命具を投げる方の人がふらふらしていたら、救命具を投げても遠くへ届かない。それではたくさんの人々を救い上げることは出来ません。悪くすれば、荒海の中に自分が引きずり込まれてしまうことになります。

　　　そうならないためには、**「我即神也」という勇気と自信と確信**がないといけません。**2020年に一番必要なのは、「我即神也」という気迫です**。なんでも来い、我即神也、と思ったときは、守護霊守護神と一体であるし、五井先生と一体であるし、宇宙神と一体である。その自分が、神聖復活の印という救命具を伝えていくのです。

　　■白光誌2019年12月号の5ページで**「会員の皆様には自信をもって進んでほしいと切に思う」**と

　　昌美先生が書いておられますが、**私たちに足りないのは自信なんです**。

　　■自分が生まれた時の神性というのを思い出せば、今までの過去の体験の記憶というものを引きずらなくて済むのです。神性を常に思い出して、過去の記憶を引きずらないこと。私たちは、そこでどうしても引きずってしまうわけです。一番大事な決定の時に、過去の失敗に記憶などを引きずってしまうことのないよう、スパッと裁断するのが**「我即神也」の言霊**なのです。この「我即神也」は永遠の真理です。絶対に忘れてはいけない。この言霊を唱えれば唱えるほど、過去の負の記憶は消えていきます。

　　■この印は、息を吸う時、**「我即神也」**、息を吐く時、**「世界人類皆即神也」**が基本となり、様々なバリエーションに発展してゆきます。この**我即神也を意識して印を組むこと**、これが最も重要なこととなります。

４．人への祈り、人類への祈りも、みんな我即神也から発し、そこに帰する

各国を祈る時

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 印の動作 | 呼吸 | 心の中で唱える言霊 |
| １ | 如来印のまま息を吸う | 吸う | 我即神也 |
| ２ | 如来印のまま息を吐く | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| ３ | 両手を斜め前に上げる | 吸う | 我即神也 |
| ４ | 両手で光輪を作る | 吐く | **○○人皆即神也**（○○は国名） |
| ５ | 両手で神聖を受け取る | 吸う | 我即神也 |
| ６ | 丹田の前で球体を作る | 吐く | **○○人皆即神也** |
| ７ | 球体から胸の前で五本指の合掌 | 吸う | 我即神也 |
| ８ | 両腕を真っ直ぐ前に伸ばす | 吐く | **○○人皆即神也** |
| ９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 我即神也 |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | 我即神也 |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | すべては完璧　欠けたるものなし　大成就 |

■この中で、「人類即神也」ではなく、**「世界人類皆即神也」**と、吐く息とともに心の中で唱えること

　　が大事なのは、この「世界」の中に大地や海や鉱物など自然界のあらゆる存在、生きとし生けるもの

すべてが含まれているからです。それらに印の光が注がれ、そこからまた感謝の波が、印を組むわた

したちに返ってきます。そして、私たちの生活が全般にわたって整ってきます。

■息を深く吸ってこうした印を組んでいると、**「我即神也」の時に、物凄いエネルギーが入ります**か

　　ら、皆さんそれぞれに抱えている問題の解決、願望の成就が確実に起こり、体の具合が悪い場合でも

　　どんどん癒されていきます。

　　■「我即神也」としっかり息を吸って、「○○国人皆即神也」で印の光を送ると、それを受け取る

○○国の国津神様や○○国の人々の守護霊守護神様から、即宇宙神を通して、特別な光が戻ってきます。とにかく**これからは「我即神也」をしっかり唱えることです。**

■いろんな波が来て、時に弱気になったり、自分に自信が無くなったりしますが、そういう時「我　　　　　　　　即神也」とやりますと、パワーが湧いてくるんです。矢でも鉄砲でももってこい、という気になれます。

■神聖復活の印を組む時の呼吸法は、白光誌（2019年12月号）の里香先生の「神聖復活の印」（P.23）

を踏まえて、お話ししています。（※再読のこと）　息を吸う時、グーッと肩甲骨を合わせて丹田を締めると同時に、「我即神也」と心の中で唱えて神聖復活の印を組む瞬間に、**超特別な光**が降りてくる。そして自分の神性というものが蘇ってきます。

５、黒い球を小さくし、更に白い球に変えてくれる

　　■白光誌（2019年12月号）「日々の指針」の六番目、「（前略）あなたの過去に放った思考や言葉,態度によって決定づけられている」に続く**『いかなる過去に放った言動行為も、神聖復活の印ですべて消されて光明に転換されてゆく』**に下線を引いておく。

　　■印を組む時、次のことを意識してください。

　　　以前、昌美先生が果因説について語られた際の喩として、大きな川があり、そこを白い球が流れてくる……それは、過去世で私たちが人類のために祈ったとか、人のために尽くしたとか、そういう想念の結果が川の上流から白い球が流れてくることとして現れてくるというわけです。一方、私たちが気が付かないうちに、あるいは気が付いていても、人をいじめたとか、悪いことをしたとか、習慣的に自分はダメだ、申し訳ないと思った、そういう思考が黒い球として上流から現在に向かって流れてくるわけですが、それが自分のところに来た場合は、運命となって現れてくることになります。思わぬお金が入ったとか、素晴らしい人に出会ったとか、いい映画を観たとか、そういうこともあるわけですね。けれど、突然事故に遭ったとか、転んだとか、理由もないのに睨まれたとか、そういうこともあるのですね。それらは間違いなく、神から離れた自らの想念行為が、黒い球となって流れて来て現れた結果です。

　　■これから申し上げることが大事なんですが、いかなる過去に放った言動行為も、神聖復活の印ですべて消されて、光明に転換されてゆく、という意味は、黒い球となって何月何日にその人の運命として現れてくるということを、守護霊様、守護神様は先刻承知していらっしゃるわけですが、この**黒い球に光を放射してくださる、**ということです。その時に、皆さんが、常日頃から組んで溜まっている印のエネルギーが使われる。いつ来るか知っていても、必要なエネルギーがプールされていないと、防ぎきれない。

　　　印を組むことにより、十分なエネルギーがプールされていると、守護霊様守護神様が助けたいと思われるときに十分な働きができるわけです。

　　■過去にやったことは必ず現れてしまう、というのが因果律ですが、この印は**「因果律を超える」**ことが可能なのです。昌美先生が提唱されている「果因説」の法則の正しさを裏付けるものでもあります。こんな有難いことはないわけで、本当に五井先生には感謝しかありません。

　　■暇があったら人類のために組む、人のために組む。そうしてエネルギーが臨界点まで達しますと、守護霊様守護神様はそのエネルギーを使って、これから起きようとしている黒玉を小さくして、白球に変えることが出来るわけです。

　　■私たちがやることは、**「ひたすら組み続けること」**。前にも申し上げましたが、印というのは「絶対他力の行」です。

　　■これから大事なのは、**エネルギーの量**です。

６、人への祈り

人のために神聖復活の印を組む時に、心の中で唱える言霊は、先ほどの国のために組む時に唱えた○○人皆即神也の部分を、○○様即神也に置き換えて唱えます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 印の動作 | 呼吸 | 心の中で唱える言霊 |
| １ | 如来印のまま息を吸う | 吸う | 我即神也 |
| ２ | 如来印のまま息を吐く | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| ３ | 両手を斜め前に上げる | 吸う | 我即神也 |
| ４ | 両手で光輪を作る | 吐く | **○○様即神也**（○○は人名） |
| ５ | 両手で神聖を受け取る | 吸う | 我即神也 |
| ６ | 丹田の前で球体を作る | 吐く | **○○様即神也** |
| ７ | 球体から胸の前で五本指の合掌 | 吸う | 我即神也 |
| ８ | 両腕を真っ直ぐ前に伸ばす | 吐く | **○○様即神也** |
| ９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 我即神也 |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | 我即神也 |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | すべては完璧　欠けたるものなし　大成就 |

　　■人のためにこの印を組む時は、（目標を持たずに組む時よりも）より集中力が増し、　**エネルギー＝集中力×回数**　の法則からしても、多くのエネルギーをプールすることになります。

　　■私たちの組む印はだんだん力が増してきていますから、一人につき七回というのでなくても、

**一回の印の中に、複数の方の為の印を入れることも自由にやっていただいて構いません。**（その行い方を次のページに天皇陛下、皇后陛下、皇族の方々を例として表に示しました）

　　■2019年、2020年は大変ですが、これを乗り切れば必ず良くなる、**印で乗り切れる**と昌美先生もおっしゃっています。「我即神也」の言霊で、どんな魔でも光に変えることが出来ますから、自信をもってやってまいりましょう。

※　複数の方々のために組む時の言霊の入れ方の参考例

天皇陛下・皇后陛下・皇族の方々のために組む場合の例

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 印の動作 | 呼吸 | 心の中で唱える言霊 |
| １ | 如来印のまま息を吸う | 吸う | 我即神也 |
| ２ | 如来印のまま息を吐く | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| ３ | 両手を斜め前に上げる | 吸う | 我即神也 |
| ４ | 両手で光輪を作る | 吐く | **天皇陛下即神也** |
| ５ | 両手で神聖を受け取る | 吸う | 我即神也 |
| ６ | 丹田の前で球体を作る | 吐く | **皇后陛下即神也** |
| ７ | 球体から胸の前で五本指の合掌 | 吸う | 我即神也 |
| ８ | 両腕を真っ直ぐ前に伸ばす | 吐く | **皇族の方々皆即神也** |
| ９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 我即神也 |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | 世界人類皆即神也 |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | 我即神也 |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | すべては完璧　欠けたるものなし　大成就 |

７、その他のお話

　　履物を大切にしましょう

　　■履物は大事です。いつも感謝して手入れをしてください。

　　　地球の内部（地面の下、地中）にはカルマが潜んでいます。

　　　このカルマが、特に祈っている人々を妨害しようと、忍び寄ってきます。

　　　隙あらば後ろから入ろうとしたり、また足元から入り込もうとしています。

　　　そのため、入らせないようにする必要があります。

　　　私たちは顔や手足はきれいにするのに、履物となると汚いものと思い、手入れを

　　　怠る傾向があります。

　　　そこをないがしろにしないよう心掛けている人は転びません。

　　　いつまでも自分の足で歩きたいものですよね。

　　　でしたら、履物に感謝しましょう。靴を磨きましょう。

　　　革靴の場合なら、動物さんにありがとうの気持ちを込めて、お手入れしてくださいね。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上

注記）

※昨年より、2019年7月の福岡市での講話会、9月の大阪支部での講話会、そして今回12月の国際文化

会館での講話会と、田中長老導師の講話会でのお話をご紹介してまいりました。そして、その都度、

“神聖復活の印を組む時の心の中で唱える言霊”の提唱内容が変遷してまいりましたが、ご講話の中で

説かれる真理は、過去のご講話から連続したもので、一貫したものでありますので、過去の真理の解釈

が修正・訂正されたというものではなく、新しく印の意味・意義や効果が付け加えられたものと解釈す

べきでありましょう。

この印を組む時の言霊は、田中長老導師が常に仰っておられますように、あくまでも「提唱」であり、

各自の創意工夫は自由である、ということでありますので、一つの提案と受け取られて、各自に合った、納得できるやり方で行じていかれたら宜しいかと思います。

例えば、今回提唱された言霊の最後の「すべては完璧　欠けたるものなし　大成就」を吐く息の一息

で唱えるのが多少無理があると思われる方は、下記のように、大阪支部で提唱された唱え方を採用され

てもよろしいかと思います。ご参考までに挙げます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ８ |  |  |  |
| ９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | **すべては** |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | **完璧** |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | **欠けたるものなし** |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | **大成就** |

あるいは次のヴァリュエーションも考えられます。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| ８ |  |  |  |
| ９ | 両腕を左右に水平に開く | 吸う | 我即神也 |
| 10 | 開いた両腕を元に戻す | 吐く | **すべては完璧** |
| 11 | 両腕を降ろして如来印に戻す | 吸う | **欠けたるものなし** |
| 12 | 如来印のまま息を吐ききる | 吐く | **大成就** |

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　以上